



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#)

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成29年5月臨時会(5月23日および5月31日) 6月定例会(6月14日~30日)

教育長・教育委員、農業委員の任命議案に同意

●定例会等の概要

- 5月臨時会(23日開催分)では、議長、副議長選挙のほか、市長提出議案として、専決処分承認議案1件を承認、議会選出の監査委員の選任議案1件に同意しました。
- 5月臨時会(31日開催分)では、市長提出議案として、一般会計補正予算議案を可決しました。
- 6月定例会では、20名の議員が一般質問を行ったほか、市長提出議案として、条例関係議案18件、補正予算議案2件、その他議案5件を可決し、教育委員会の教育長および委員の任命議案、農業委員会委員の任命議案13件にそれぞれ同意しました。
- 議員提出議案として、「SDGs目標14“海の豊かさを守ろう”の達成のため、使い捨てプラスチック製品を使わないことで、リフューズを推奨するよう国に求める意見書の提出について」ほか2件を可決しました。

●定例会等の主な動き

- 5月臨時会/本会議等(5/23)……………新役員の決定、議案上程、採決(1・3面)
- 5月臨時会/本会議等(5/31)……………議案上程・審査、委員長報告、採決(3面)
- 6月定例会/本会議(6/14~20)……………一般質問、議案上程(2・4面)
- 各常任委員会(6/21~26)……………議案・陳情審査等(3面)
- 本会議(6/30)……………緊急質問、委員長報告、議案上程、採決(3・4面)

新たな任期がスタートしました!

(議員任期：平成29年5月15日~平成33年5月14日)



【第20期議員と市長・副市長】

- 吉岡 和江議員
- 河村 琢磨議員
- 三留 定男 事務局長
- 松中 健治議員
- 竹田ゆかり議員
- 安立 奈穂議員
- 久坂くにえ議員
- 永田磨梨奈議員
- 飯野 眞毅議員
- 納所 輝次 副議長
- 日向 慎吾議員
- 伊藤 倫邦議員
- 山田 直人 議長
- 保坂 令子議員
- くりはらえりこ議員
- 松尾 崇市長
- 池田 実議員
- 志田 一宏 副市長
- 小磯 一彦 副市長
- 長嶋 竜弘議員
- 高野 洋一議員
- 高橋 浩司議員
- 西岡 幸子議員
- 武野 裕子議員
- 大石 和久議員
- 前川 綾子議員
- 森 功一議員
- 千 一議員
- 中村聡一郎議員

新役員が決定しました

5月23日の臨時会において議長、副議長の選挙を行い、議長に山田直人議員が、副議長に納所輝次議員が選出されました。

また、議会選出の監査委員については、久坂くにえ議員が選任されました。(※鎌倉市議会では、申し合わせにより議長、副議長などの議会役員については任期を1年とし、例年は6月定例会で改選することとしています。)



山田直人議長



納所輝次副議長



久坂くにえ監査委員

常任委員会等の委員構成

委員会	各委員会の所属議員 (◎委員長 ○副委員長)					
総務常任委員会	◎高野 洋一 飯野 眞毅	○保坂 令子 森 功一	竹田ゆかり 永田磨梨奈	山田 直人		
教育こどもみらい 常任委員会	◎高橋 浩司 納所 輝次	○安立 奈穂 前川 綾子	千 一	河村 琢磨		
観光厚生常任委員会	◎西岡 幸子 日向 慎吾	○吉岡 和江 久坂くにえ	志田 一宏	長嶋 竜弘		
建設常任委員会	◎伊藤 倫邦 中村聡一郎	○池田 実 大石 和久	くりはらえりこ 松中 健治	武野 裕子		
議会運営委員会	◎前川 綾子 森 功一 保坂 令子	○大石 和久 高野 洋一 吉岡 和江	志田 一宏 高橋 浩司	池田 実 久坂くにえ		
議会広報委員会	◎河村 琢磨 西岡 幸子	○日向 慎吾 池田 実	志田 一宏 保坂 令子	武野 裕子		

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので6月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、9月上旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

食から考える暮らし

食から考える暮らしについて、次の視点から質問が行われました。

健康寿命の延伸と環境

健康福祉部長：鎌倉市食育推進計画では、基本理念を、食を通して豊かな環境、健康やかな心身を地域で育むまちづくりとしている。

また、国の食育推進基本計画では、各地域で食育の推進が着実に図られるよう、市町村における管理栄養士等の配置の推進がうたわれており、本市においては、健康寿命の延伸に向け、妊産婦から高齢者まで継続的な取り組みができるよう、管理栄養士の配置については、平成18年度に常勤1名、非常勤嘱託員2名に増員して強化している状況である。

質問：フードドライブという食品ロスに取り組むための考え方について、本市の状

況はいかがか。

環境部長：フードドライブは、家庭で余った食品をイベント等で集めてフードバンクに寄付するものであるが、他市町村での事例を参考にしながら実施に向けて取り組んでいきたい。

質問：健康寿命の延伸、食品ロス、フードドライブといった考え方を中心にしながら、環境施策・健康づくりに取り組んでいくことについて、本市の考え方を聞きたい。

市長：食という観点からの健康寿命の延伸は、市民一人一人が生涯を通じて心身ともに健康で豊かな生活を送るために大変重要であると考えている。ライフステージに応じた課題に対して切れ目なく取り組むことで、健康寿命の延伸につながるよう取り組んでいきたい。

中学校給食の実施

質問：本市では本年11月から中学校給食が始まるが、食材として、市内でとれた地場野菜や海産物の使用が期待される。その見込みはどうかか。

教育部長：中学校9校全ての給食を一括して調理するため、安定的に大量の食材の調達が必要となってくるが、小学校給食と同様に、できるだけ市内産の地場野菜や海産物が使用できるように、調達に努めていきたい。また、食材の産地については、ホームページ等で公表していく予定である。

質問：食材の放射性物質濃度測定についてはどのように実施するのか。

同部長：小学校給食と同様に行うこととし、本市の学校給食全体としての安全性の確認に努めていきたい。

農業と福祉の連携

質問：本市における、遊休農地の状況を聞きたい。

市民活動部長：本市の農地は全体で65ヘクタールあり、そのうち遊休農地は8・4ヘクタールある。これらの遊休農地は、遊休農地解消対策協議会で農地への復元を行うなど、順調に解消が進んでいるところである。

質問：先日的一般質問において、障害福祉サービスは積極的に提供していく必要があるとの答弁があった。その具体策でもある農福連携は国も進めているとのことであるが、本市の取り組み状況はどうかか。

健康福祉部長：農業には障害特性に応じた作業などが多く、知的障害者や精神障害者の訓練の場として、農業体験を取り入れている福祉施設があることは認識している。農地確保の問題があるものの、社会福祉事業を活用した農業の環境整備に努めていきたい。

新しいインフラ整備の在り方

新しいインフラ整備の在り方について、次の質問が行われました。

質問：インフラの長寿命化計画をまとめ、事後保全型から予防保全型の管理方式を目指す社会基盤施設マネジメント計画が平成28年3月に策定されたが、その進捗状況はどうか。

都市整備部長：平成28年度は、市全体の実施計画との調整を図るとともに、各施設において予防保全型管理に向けて着実な取り組みを行うための管理方針を作成した。平成29年度は、各施設の現状を把握するための調査・点検を行い、取り組みに関わる全ての管理者が管理方針を共有した上で施設ごとのマネジメントに取り組み、最適なインフラの管理に努めていく。

質問：想定外のインフラ事故の発生状況と予防するための施策、また住民の安全をどのように確保していくのか伺いたい。

同部長：規模の大きな事故としては平成28年4月に稲村ガ崎で発生した道路陥没に伴う汚水圧送管破損事故があった。今後は、定期点検や調査結果の分析など予防保全型を中心とした維持管理を適切に行い、市民生活の安全・安心に努めたい。

質問：本市の道路状態は悪いと考えているが、道路の補修はどのように実施しているのか。

同部長：幹線道路やバス通りを対象として平成24年度に道路舗装修繕計画を策定し

ており、舗装の補修更新を計画的に実施することで適正な管理に努めている。それ以外の生活道路や大規模住宅団地内の道路においては、住民要望等を受けて舗装の打ち換えや既存舗装の表面に薄く舗装をかぶせる工法などにより対応している。

質問：道路舗装修繕計画の進捗状況はどうか。

同部長：計画において修繕の必要な総延長は33・6キロメートルであり、平成28年度までの施工延長は約7・2キロメートルで、進捗率は約20%となっている。平成29年度は、約2・5キロメートルを予定している。

質問：道路の修繕を実施する優先順位付けの見直しは考えているか。

同部長：これまでの視点に加え、観光施設周辺等の視点を織り込み、平成30年度に道路舗装修繕計画の見直しを行う予定である。

質問：千葉市では、公用車に取り付けたスマートフォンで自動撮影した道路の画像を、AI（人工知能）が修繕の必要性を判断するという実証実験をしている。このシステムを応用し、ドローンで撮影した画像をAIに判断させれば、安全点検の効率化が図れ、迅速な対応が可能となると考えるがどうか。

市長：新しい取り組みということで、非常に可能性を感じる分野である。千葉市の実証実験等も注視していきたい。

一般質問項目一覧

① 松中 健治（無所属）

- 1 ドローンの研究調査・訓練場所と活用
- 2 歩く人にやさしい道と観光、散策
- 3 旧岡本マンション計画地跡地のその後

② 武野 裕子（日本共産党）

- 1 平和行政の推進について
- 2 北鎌倉隧道の市民の安全と文化財保護について

③ 竹田 ゆかり（無所属）

- 1 障害者福祉サービスについて
- 2 市議会議員選挙について
- 3 教職員の多忙化について
- 4 学習教材について
- 5 市の窓口業務について

④ 高野 洋一（日本共産党）

- 1 子育て支援、特に保育園の増設について
- 2 教育支援、特に老朽化した学校の修繕等について
- 3 公共施設再編計画、市役所の移転等について
- 4 江ノ電の混雑対策について

⑤ 千 一（無所属）

- 1 車椅子などでも来訪してくれる観光客の対応について
- 2 子どもの家の事件について

- 3 学校にエレベーターを
- 4 信号のない横断歩道と点字ブロックについて
- 5 重度訪問介護について
- 6 寿福寺前の側溝などの通学路で危険な部分にふたを

⑥ 大石 和久（公明党）

- 1 岡本2丁目用地施設整備計画について

⑦ 永田 磨梨奈（鎌倉会）

- 1 鎌倉市の働く環境について
- 2 安心安全な地域づくりについて

⑧ 安立 奈穂（神奈川ネット鎌倉）

- 1 中学校給食について

⑨ 保坂 令子（神奈川ネット鎌倉）

- 1 鎌倉市の観光施策の今後の展開について
- 2 地方創生交付金事業の効果について

⑩ 納所 輝次（公明党）

- 1 歴史的遺産と共生するまちづくりについて

⑪ 池田 実（鎌倉みらい）

- 1 深沢地域のまちづくりについて
- 2 期待される市役所について
- 3 地域の役割と課題について
- 4 インフラの維持補修について

⑫ 日向 慎吾（鎌倉会）

- 1 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応
- 2 地域の憩いの場について

⑬ 長嶋 竜弘（無所属）

- 1 松尾市政のフェイクを暴く！

⑭ 吉岡 和江（日本共産党）

- 1 自治体負担の新駅設置について
- 2 高齢者バス等交通優待制度の復活等について
- 3 道路・歩道・樹林管理等安全対策について

⑮ 飯野 真毅（無所属）

- 1 居場所づくりについて
- 2 公園行政について

⑯ 西岡 幸子（公明党）

- 1 「食」から考える健康寿命の延伸と環境について

⑰ くりはら えりこ（無所属）

- 1 2020年オリンピック・パラリンピックに向けた鎌倉市の取り組み

について

- 2 教育環境について
- ⑱ 伊藤 倫邦（自民党鎌倉市議団）
- 1 今泉クリーンセンターの今後の活用について
- 2 今泉 砂押川周辺道路状況、交通問題
- 3 災害発生時 町内会館の活用
- ⑲ 河村 琢磨（ヴィジョン）
- 1 農業と福祉の連携について
- 2 ふるさと納税返礼品について
- 3 湘南モノレールSuica/PASMO交通系ICカード導入について
- 4 AIを活用した自治体運営の可能性について
- 5 俯瞰的な視点でのまちづくりについて
- ⑳ 高橋 浩司（鎌倉会）
- 1 職員の就労環境について

請願・陳情について

市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。

請願は1人以上の紹介議員の署名が必要となり、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…定例会初日の前日まで

締め切りまでに提出された場合は、その定例会で審査します。それ以降に提出された場合は、原則、次の定例会での審査となります。

問い合わせは… 電話：0467(23)3000 内線2448
 鎌倉市議会事務局 FAX：0467(23)5825
 議事調査担当 メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

6月22日開催
審査した内容（議案5件、陳情1件、報告事項等11件）

報告事項 （仮称）市民活動推進条例の進捗状況について

（仮称）市民活動推進条例は、地域でのさまざまな活動の活性化、多様な主体の連携強化を推進していくため制定の準備をしており、その内容については、市民活動団体等で構成された（仮称）市民活動推進条例検討会において検討しているもので、昨年11月に実施したパブリックコメントの結果、条例の名称に関する意見や、条例に具体性がないとの意見等があったことから、条例素案の見直しを行ったとのことです。

見直した内容は、名称については、条例の趣旨を鎌倉のまちに関わる全ての人に、より丁寧に伝えていきたいとの思いから「わたしたちのまち鎌倉のことに関心をもち、自分たちでよりよくしていこうという想いを共有して行動するための条例」としたこと、また、条例に具体性を持たせるため、指針の策定、市の責務、委員会の設置についての規定を加え、条文を整理したとのことです。また、見直した条例素案については7月21日までに再度パブリックコメントを実施し、9月定例会に提案予定であるとの報告がありました。

委員からは、市民活動団体が集える場所を確保するための支援などについての質疑があり、委員会では、総員により了承されました。

6月26日開催
審査した内容（議案5件、報告事項7件）

報告事項 公的不動産利活用の取り組み状況について

老朽化への対応が課題となっている市役所本庁舎は、本年3月に「移転して整備する」方針が決定されています。移転先は今年度中に選定するとされていますが、市庁舎移転は地域経済や市民サービス等に大きな影響を及ぼすため、広いまちづくりの視点をもって、市庁舎移転候補地の選定と市が保有する低未利用地や周辺公共施設の再編も視野に入れた公的不動産の利活用についての検討が行われるとのことです。

公的不動産利活用の推進の取り組みでは、「公的不動産利活用推進委員会」を設置して、公的不動産利活用の検証と市役所移転シミュレーションを行い、全市の視点から市民サービス、地域経済等への効果、課題の抽出、評価、検討が行われるとのことです。今年度においては、全体的なまちづくりに影響を与える5つの土地・建物（市役所本庁舎、野村総研跡地、深沢地域整備事業用地、扇湖山荘、資生堂鎌倉工場跡地）を中心に、既存の行政計画における個々の土地利用の方針等との整合性、影響度、期待できる効果について議論を進めていくとのことです。

今後は、推進委員会での議論と併せ、市民への説明、意見聴取に努め、今年度中の方針策定に向けて取り組んでいくとの報告を受けました。

委員会では、質疑の中で、大きなまちづくりの方向性を決めるに当たり、広く市民との合意形成を図ることや丁寧な検討を求めるとの意見がありました。総員により了承されました。

観光厚生常任委員会

常任委員会

総務常任委員会

建設常任委員会

審査の一部を紹介します

教育こどもみらい常任委員会

6月23日開催
審査した内容（議案4件、陳情3件、報告事項12件）

報告事項 江ノ電鎌倉駅西口改札における社会実験について

ゴールデンウィークなど多くの観光客が訪れる時期には改札口の外まで乗車待ちの行列が並び、江ノ電に乗車するまで1時間以上かかることがあり、江ノ電沿線の住民等は日常生活に支障が出ているため、江ノ島電鉄株式会社に対し混雑改善対策の要望をしてきたところ、同社から提案を受け、社会実験を行ったとのことです。

社会実験は、市が事前に発行した証明書を提示することで、改札口以外の行列に並ばず駅構内に入場でき、構内の行列の最後尾に並ぶというもので、証明書は4月28日から5月2日に対象の住民等に1200枚を発行し、5月6日10時～16時に実施したとのことです。

実験当日は乗車待ちの列が改札口の外までは延びず、証明書を利用して駅構内に入場するには至らなかったため、実験の効果や課題を把握することはできなかったとのことです。

証明書を発行した住民等へのアンケート結果では、今回の取り組みを今後も実施してほしいとの意見が多くあったことから、アンケート結果を同社に伝えるとともに、混雑時における沿線住民等に対する施策、改善策が早期に実現するよう取り組んでいくとの報告がありました。

委員会では総員により了承されました。

6月21日開催
審査した内容（議案11件、報告事項14件）

報告事項 由比ガ浜こどもセンターの整備状況について

同センターの整備については、第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画後期実施計画における重点事業として位置付けられ、①認可保育所②子育て支援センターおよび③障害児通所支援施設からなる複合施設として整備を行っており、また、地域の津波避難ビルとしても活用することを予定しているとのことで、平成29年8月末の完成に向け、おおむね工どおりに整備が進んでいるとのことです。

①認可保育所は、いずれも津波浸水想定区域に位置する市立材木座保育園および稲瀬川保育園を、津波対策として移転、統合するもので、引き続き、設置、運営ともに鎌倉市が行います。

②子育て支援センターは、スペース拡大などを目的として、現在、鎌倉福祉センター内にある鎌倉子育て支援センターを移転します。

③障害児通所支援施設は、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障害児相談支援事業等を行う施設の通称で、建物の一部を民間事業者へ貸し付けた上で、民間事業者が設置、運営を行うもので、民間事業者については、今後、公募により決定する予定とのことです。

なお、地域の皆様に名前が広く周知されていることなどを踏まえて、（仮称）をとり、今後は『由比ガ浜こどもセンター』を正式名称とするとの報告がありました。

委員会では総員により了承されました。

任期満了に伴う市議会議員選挙が4月23日に行われ、26名の新しい議員が選出されたことに伴い、5月23日、改選後の初議会として臨時会が開催され、議長・副議長の選挙が行われました。

5月臨時会
(23日および31日に開催)

議会新役員決定

議長選挙
山田直人議員 21票
無効票(白票) 5票

副議長選挙
納所輝次議員 21票
無効票(白票) 5票

選挙の結果、議長に山田直人議員、副議長に納所輝次議員が選出されるとともに、議会選出の監査委員として、久坂くにえ議員が選

任されました。

一般会計補正予算を可決

「平成29年度鎌倉市一般会計補正予算(第1号)」の議案が市長から提出されたことを受けて、5月31日に臨時会が開催されました。補正の内容は、本年度当初予算案の審査で削除した観光協会の運営に係る経費について、歳入歳出ともに4668万4千円を追加するもので、補正後の総額は59億9670万円となります。審議の中では、同協会が説明責任を積極的に果たし、市においても、同協会の運営状況の把握に努め、意思疎通の強化を要望するとの意見が出されましたが、多数の賛成により原案を可決しました。

可決した意見書・決議

今定例会で、下記の意見書提出および決議に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

由比ガ浜海水浴場における海の家の健全な営業を求める決議

7月1日に海開きを迎える海水浴場であるが、このたび、由比ガ浜海水浴場において「相席屋」なる海の家の出店することが、インターネット等を通じて発覚した。

「相席屋」なる営業は、その営業内容が出会い喫茶やデートクラブ等、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に抵触する可能性もあり、海水浴客を対象とする海の家の営業とは、かけ離れた営業の形態である事を心配する市民からの声も多数寄せられている。

また、近年誰もが楽しめるファミリービーチを目指し、由比ガ浜海水浴場が取り組んできたイメージを損なうことになりかねない。

よって市と各海水浴場組合に対して、海の家の健全な営業に努めるように強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年6月30日

鎌倉市議会

※なお、当該事業者は、由比ガ浜海水浴場から撤退する旨、市から報告がありました。

このほか、

・SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」の達成のため、使い捨てプラスチック製品を使わないことで、リデュースを推奨するよう国に求める意見書

・会計課における決裁に係る問題について鎌倉市が市民からの信頼を再度失墜させたことについて松尾市長に対して猛省を求める決議を可決しました。

(可決した意見書・決議の全文は、市議会ホームページをご覧ください)

